

みずほCustomer Desk Report 2019/08/23 号(As of 2019/08/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.59
TKY 9:00AM	106.60	1.1091	118.22	1.2131	0.6784
SYD-NY High	106.65	1.1113	118.30	1.2273	0.6787
SYD-NY Low	106.25	1.1064	117.74	1.2109	0.6751
NY 5:00 PM	106.44	1.1079	117.92	1.2257	0.6756

NY DOW	26,252.24	49.51	日本2年債	-0.3100	▲1.00bp
NASDAQ	7,991.39	▲28.82	日本10年債	-0.2500	▲1.00bp
S&P	2,922.95	▲1.48	米国2年債	1.6111	3.77bp
日経平均	20,628.01	9.44	米国5年債	1.4971	2.44bp
TOPIX	1,498.06	0.55	米国10年債	1.6123	2.21bp
シカゴ日経先物	20,595	▲90	独10年債	-0.6460	2.85bp
ロンドンFT	7,128.18	▲75.79	英10年債	0.5165	4.30bp
DAX	11,747.04	▲55.81	豪10年債	0.9270	▲0.10bp
ハンセン指数	26,048.72	▲221.32	USDJPY 1M Vol	7.51	▲0.06%
上海総合	2,883.44	3.11	USDJPY 3M Vol	7.58	0.08%
NY金	1,508.50	▲7.20	USDJPY 6M Vol	7.35	0.02%
WTI	55.35	▲0.33	USDJPY 1M 25RR	-1.60	Yen Call Over
CRB指数	170.32	▲0.59	EURJPY 3M Vol	8.14	▲0.02%
ドルインデックス	98.17	▲0.13	EURJPY 6M Vol	7.99	0.04%

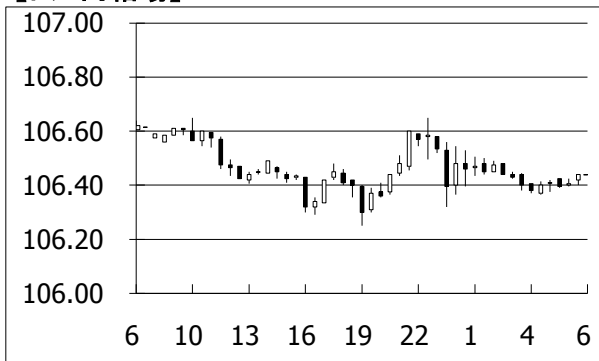
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月22日	16:30	独 マークイット製造業PMI・速報	8月 43.6	43.0
	16:30	独 マークイットサービス業PMI・速報	8月 54.4	54.0
	16:30	独 マークイットコンポジットPMI・速報	8月 51.4	50.6
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	17-Aug 209k	216k
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報	8月 49.9	50.5
	22:45	米 マークイットサービス業PMI・速報	8月 50.9	52.8
	22:45	米 マークイットコンポジットPMI・速報	8月 50.9	-

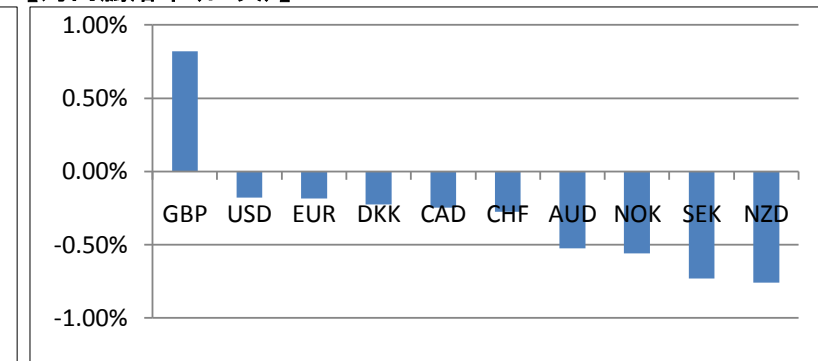
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月23日	08:30	日 全国CPI	7月 0.6%	0.7%
	08:30	日 全国コアCPI	7月 0.6%	0.6%
	08:30	日 全国コアコアCPI	7月 0.5%	0.5%
	21:30	加 小売売上高(前月比)	6月 -0.3%	-0.1%
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	23:00	米 新築住宅販売件数	7月 647k	646k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.80-107.00	1.1030-1.1130	117.50-118.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は106.50円を中心に小動きとなった。アジア株・欧州株が軟調推移する中で、韓国が日本との軍事情報包括保護協定(GSOMIA)を破棄するとのヘッドラインが伝わるとドル円は一時106.25まで下落。その後はメルケル独首相の「Brexitの解決策について、10月31日まで時間がある」との発言を受け、Hard Brexitの懸念が後退しポンド円が急伸、ドル円も連れ高となり一時106.65をつける。NY時間午後は23日にジャクソンホールでのパウエルFRB議長の講演を控えて動意薄に推移した。

本日控えるパウエルFRB議長の講演の焦点は次なる利下げにむけた説明にあらう。9月に開かれるFOMCにて次回の動きを決定するとの目測が広がる中で、どのようにFRB当局者たちの合意形成を促していくかに注目が集まっている。逆に、7月の利下げを「サイクル半ばの調整」と説明したパウエルFRB議長のスタンスが軌道修正されることがあれば、サプライズと受け止められ、ドル円の反発を促すこととなるだろう。

アジア	東京時間のドル円は106.60レベルでオープン。米長期金利が1.55%台まで低下する動きに伴い、ドル円は午前中盤に106.40台、15時過ぎに106.30台へと下落。一時106.30まで下落した後、106.32レベルでロンドンへ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.32レベルでオープン。明日に米連邦準備理事会(FRB)議長の講演を控え、方向感が出にくい展開となった。106.40レベルを挟み、約30銭のレンジで推移し、106.60レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2125レベルでオープン。早朝はユーロ圏7月度PMIが市場予想を上回ったことでユーロ買い・ドル売りが優勢となると、ポンドが連れ高に。その後は、仏大統領から「英EU離脱、30日以内に何か賢明な策を見出せる」との発言が流れると、ポンドが買われ、1.2180まで上昇。結局1.2148レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、「韓国が日本との軍事情報包括保護協定を破棄」とのヘッドラインが伝わる中、アジア株や欧州株の軟調推移とともに、106.25まで下落。しかし、早朝にかけて米金利が持ち直したことから106.60まで上昇し、106.59レベルでNYオープン。朝方発表の米新規失業保険申請件数は予想以上に下落したが、ドル円の反応は限定だった。しかし、メルケル独首相が「ブレグジットの解決策について、10月31日まで時間がある」と発言したことが伝わると、合意なきブレグジットへの懸念が後退し、ポンド円の急騰にドル円も連れ高となり、高値106.65をつける。その後、米8月製造業PMIが予想を下回ると106.33まで反落するが、続いて発表された米7月景気先行指数が予想を上回ると106.54まで買い戻される。明日にパウエルFRB議長のジャクソンホール講演を控える中、午後は様子見ムードが強まり、106.40近辺で小動きとなり、106.44レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、フランス、ドイツ、ユーロ圏の8月PMIが予想を上回ったことから、ユーロ買いが先行し、一時1.1113まで上昇。しかし、欧州株が軟調に推移する中、買いは長続きでせず、1.1067まで反落し、1.1081レベルでNYオープン。新規材料が乏しい中、1.1080近辺で小幅なレンジで推移が続いた。午前は1.1099まで上昇する場面もあったが、1.11台回復は出来ず、1.10後半まで押し戻される。午後は明日のイベントを控え、小動きとなり、結局1.1079レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原